

## 300系の変遷

- 昭和 63 (1988)年 1月 開発着手「東海道新幹線速度向上プロジェクト委員会」  
・スピードアップを図るとともに、膨大かつ増加を続ける輸送需要に呼応して、円滑な輸送サービスを提供することを目的とする
- 平成 2 (1990)年 3月 量産先行試作車が完成、走行試験開始  
・その後基本的な性能するための速度向上試験、長期耐久試験を実施する。
- 平成 3 (1991)年 2月 当時の国内最高速度325.7 km/hを記録
- 平成 4 (1992)年 3月 「のぞみ」として営業運転開始  
・東京～新大阪間の最高速度270 km/h  
従来の「ひかり」「こだま」の最高速度は220 km/h  
・東京～新大阪間の所要時分は2時間30分  
従来の「ひかり」に対して19分の到達時分短縮を達成
- 平成 5 (1993)年 3月 「のぞみ」が山陽新幹線区間に乗り入れ開始  
・東京～博多間の最高速度270 km/h  
・東京～博多間の所要時分は5時間4分
- 5月 「ローレル賞」を受賞  
・軽量化、省エネルギー化、省力化といった新技術の導入、客室構成、接客サービス等が次世代の高速車両の母体となっていることが評価された。
- 平成 10 (1998)年 10月 最後の300系製作完了
- 平成 24 (2012)年春 東海道・山陽新幹線から引退

